

## 2023年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 ..... 至誠サイエンスクラブ

代表者・役職名 氏名 ..... 代表 柳澤 和彦

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクト名

至誠サイエンスクラブ泊バスツアー「あつまれ!小さな芸術家」

## 2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

児童養護施設至誠学園内にある幼稚園の元保護者が中心となり、地域の子どもの健全育成を担う活動を実施しようと、科学技術館サイエンス友の会立川支部として発足。現在は独立運営となり、近隣小学校の児童を対象にその都度呼びかけながら活動を実施。スタッフ14名が毎回ボランティアで参加しています。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

コロナ禍により、子どもたちの社会経験や地域内での家族以外との関わりは大きく減少、集団での活動経験、生活体験に乏しい状況が続いていました。また近年は子どもの理科離れも叫ばれていますが、興味を持つきっかけさえあれば自ら進んで取り組み、楽しもうとする意欲は変わらず旺盛だと考えます。至誠サイエンスクラブらしく、工作等の体験を通して子どもたちが自ら素材から作品を作り上げる楽しさを感じ、興味を養うことで将来の選択の幅を拓け、また地域住民であるスタッフも含めみんながお互いに助け合い、健全に育てる地域環境醸成を目指します。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

近隣の小学校児童から参加者を募り「藤野芸術の家」に宿泊。施設が主催する「木工」または「サンドブラスト」のプログラムを個々に選択、自由な発想を活かしながら作品を作り、完成した作品について参加者で感想を共有しました。また夜の時間にはスタッフが準備した紙パズルや割りばし鉄砲づくりのプログラム、また広大な敷地を活かして花火も行い、子どもたちは新たな友人たちと共に過ごす時間を楽しみました。二日目は近くの農園でさつまいも掘りを体験、それぞれ大きなさつまいもを持ち帰っただけでなく、後日再び集まり焚き火でのやきいも大会を開催、参加者同士が再会し、ツアーの様子を振り返る機会を設けました。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

事前説明会の際は互いにほとんど会話のなかった子どもたちが、工作や芋ほり、みんなでの宿泊などツアー中の体験にとっても積極的に取り組み、終了後も誘い合って一緒に遊ぶようになりました。その様子を見たスタッフも活動の良さを再認識し、その後の行事に積極的に参画するようになっていきます。子どもたちからの要望もあり、収穫したさつまいもで後日やきいもを実施しましたが、その際同行した保護者からも、子どもたちがツアーの様子をととても楽しそうに話していたことや、また参加させたいと非常に前向きな意見をいただき、同時に活動手伝いの申し出もありました。この活動を通じ、地域の様々な世代の人たちが少しでも所属を感じられるような、緩やかな居場所づくりに貢献できていると感じています。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

物価高騰により当初想定していた貸切バスでの移動が叶わなかったり、実施日程が他の地域行事と重なってしまったり、費用や行きやすさなどを考えながら、忙しい現代の子どもたちが参加しやすい予定を決めることには難しさを感じました。また現在は参加スタッフがある程度固定化していますが、コロナ禍が落ち着き活動を再開したことで初めて当団体の行事に参加してくれる児童が増え、それをきっかけにして子どもたちに関わる「良きおとな」を活動に巻き込むことができていると思っています。子ども同士だけでなく、様々な場面から関わる地域の大人たちなど、地域住民の新たなつながりが生まれることを期待しています。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください

